

研究課題名	人工膝関節周囲骨密度における画像データを用いたコンピュータモデルによる予測値と臨床データとの比較
研究の意義・目的	人工膝関節周囲骨密度において、画像データを用いたコンピュータモデルによる予測値と臨床データを比較することで、人工膝関節周囲骨密度の術後変化を予想するシミュレーションソフトを改良します。本研究によって、人工膝関節周囲の骨密度変化を予測する方法を確立することが期待されます。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2023年12月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2007年12月～2012年9月に大阪市立大学医学部附属病院の整形外科で、膝疾患のため人工膝関節置換術を受けられた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、身長、体重、骨密度、CT画像、X線画像】
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関であるオランダのラドバウド大学整形外科研究室に頂いた、上記の情報を提供します。 共同研究機関 ラドバウド大学整形外科研究室からシミュレーション情報の提供を受けて研究を実施します。
この研究を行っている共同研究機関	共同研究機関の名称 ラドバウド大学メディカルセンター、整形外科研究所、オランダ 研究責任者の氏名 デニス ヤンセン https://www.radboudumc.nl/en/research/research-groups/orthopaedic-research-lab
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学 研究責任者 箕田 行秀
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学 (担当者氏名) 箕田 行秀 電話番号：(06) 6645-3851 メールアドレス：yminoda@med.osaka-cu.ac.jp